

『一生懸命』幻の新座市議会報告第266弾!



たかむらともや

③ 悩んでいる子ども達へ

担任した子ども達にも、塾の教え子達にもよく言ってきた言葉があります。

それは誰にも時間は平等にあるということ。1日は24時間、1440分、86400秒…どんな人にも平等にあります。それをどう使うかで自分の一度切りの人生が決まるということです。

もう一つは「君たちの人生は君たちのもの」だということ。人生は一度切りです。どんな人も多分一度切り(笑)。だったら、自分の人生は自分が選択しなきゃ! 親は勿論、教師や他の大人が選択した人生を歩いて欲しくない。

親や教師の価値観で生きて欲しくない。自分の可能性を信じて生き抜いて欲しい。そして、「いい人」に出会って欲しい。人生はそれが全てだとも思います。「いい人」に出会ったら自然に「いい人生」になっていきます。

反対に「人相の悪い人」に会ってしまうと、いいことは何も無いので気をつけてくださいね。

「いい人」は決して自分を偉く見せません。大声で威嚇したり、君たちのことを見下したりしません。そして、君たちを否定しません。

陰で悪口も言いません。一緒にいて笑顔になれない人、君たちを大切してくれない人は例えそれが親であっても離れた方がいい。

新しい年のはじめにそれだけは言っておきます。君たちの周りにいるいい人を見つけてください。一緒にいると安心して、ホッとして力が湧いて、笑顔になる人がきっといる筈です。



2026年1月22日発行



教え子が日本リーグに出場したので応援に行きました。真ん中がガルネサンスのキャプテン佐々木悠、同級生の光と顧問(笑)③

たかやんのプロフィール



本名たかむらともや
54年青山生まれ。

新宿区百人町四丁目の公務員住宅で育つ。西戸山小学校では有名な悪ガキで、西戸山中学校時代には戸塚警察に手配される。それを救ってくれたのが担任だった川合隆慶。先生がいなかつたら、人生が終わっていた…
西戸山中、都立石神井高、北大テニス部卒
北大水産学部で船乗りを目指すが大学三年の冬、突然教師になることを決意。

後輩の圭司や先生達の力を借りて無理矢理単位を取り卒業。そして、昭和52年新座五中一期生、三年四組の担任となる。

新任の僕に新設校の三年の担任と二年生の理科まで押し付けたのだから、当時の先輩たちは本当に優しかった(笑)。

写真左は六中テニス部の愛とその家族。
上の写真は空と幼馴染の光太。この4月から小学校の先生になります。楽しみ!! ③

たかやんの連絡先 面接・塾 042-456-8869 携帯 090-6497-5737

takayanchan@outlook.jp

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

みさえの部屋4

12月議会の上田みさえの一般質問は次の4つについてでした。

1. 「リチウムイオン電池の分別ルールの徹底について」
 2. 「若年層の薬の過剰摂取(オーバードーズ)について。」
 3. 「児童・生徒の自殺防止対策について」
 4. 「埼玉県が進めている**メタバース**を活用した不登校児童生徒等支援事業について」
- この中の4に対しての答弁がこれです。
「新座市では現在9名の児童・生徒が登録しています。この事業の内容につきましては参加者同士の交流、専門のカウンセラーによる相談業務、学習支援などの提供など多岐にわたる取り組みが行われています。また学習だけではなくて、楽しんで参加できるような工夫もされています。12月からは週5日の開設となります。申し込み方法については利用を希望する児童・生徒の保護者から学校または市の教育委員会を通して登録する流れになっています。」

上田みさえ

「家から出られない不登校の児童・生徒の為の**メタバース**の導入に関しては2年強の日数がかかりました。毎回のように粘り強くしつこく、そして爽やかに取組んで参りました。ここにようやく出発点に辿り着くことができたこと、待ち望んでいた保護者の方々共々、感謝申し上げます。**メタバース**への参加に関するご丁寧な説明ありがとうございます。これで3年くらい寿命が延長されたことと思われます。」(笑いと拍手が起こる)



新年の抱負

今年は僕の年なんです。そう午年です。元気のいい馬らしく思い切り走らないとね。

だから、まず走ります。毎日、5キロを30分で走ります。次は手話かな。僕には難聴・中途失聴者の会「大空の会」の大好きな仲間たちがいます。僕は初心者なので、早く先輩達に追いつきたいのです。

次はギターを弾いて歌うこと。毎日弾いて歌いたいと思っています。そして、韓国語と英語。一番下の息子が4か国語を話すので僕も3か国語はいかないと…(笑)

この1年半でその息子がカナダの大学を卒業します。同級生たちより1年以上遅い卒業ですが、よく頑張っていると思います。

だから、僕も本気で頑張る年にしようと思っています。応援してくれている沢山の教え子達、たかやん塾の子ども達、そして僕を必要とする子ども達、市民の方達の為に今年も懸命に走り続けたいと思います。

國の借金は嘘、市の財政も健全

國の財政は破綻寸前で新座市の財政も非常事態…どちらも嘘です。國の嘘は国民負担を増やし増税する為の嘘。市の財政は財政調整基金や色々な基金を100億も貯こんでいるのだから健全。その嘘のせいで国民負担率は5割になり、市民への福祉予算はカットされ続けているのです。

「失われた30年」で太ったのは大企業。数百兆円の内部留保と彼らを支えてきた政治家達の激太りがそれを証明しています。

「財政非常事態宣言」で市の財政は余裕のよっちゃんになり、解除されてからも市民は苦しい生活を余儀なくされています。

今の日本は弱い人たちに冷たい。生活保護がないと生きていけない人、障がいで苦しむ人、難病で苦しむ人、学費が払えない学生たちに冷たい。だから政治家は勿論、官僚も教師も上を見ないで下を見る人。

強いものに媚びるのではなく、弱い人たちに目を向け寄り添う人が選ばれる。子ども達の為にそういう日本にしなきゃだ!

